一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー
General incorporated association YAKEI Convention & Visitors Bureau

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー認定

第一回認定・14カ所／100カ所
(認定日:2016年3月23日)

日本百名月プロジェクト

春夏秋冬、日本の名月を観光資源に
新認定ブランド「日本百名月」がスタート！

日本百100名月

松島にのぼる月

月夜野の月
指月会

鬼怒川温泉の月
月あかり花回廊

宇奈月の月
宇奈月温泉100名月物語

あべのハルカスから望む月
ハルカス300

江の島から望む月

妙高山にのぼる月

石山寺の月／石山寺秋月祭

稲佐山から望む月

沖縄那覇の月（首里・識名園・福州園）

中禅寺湖・戦場ヶ原・奥日光湯元温泉から望む月

藻岩山から望む月

奥比叡ドライブウェイから望む月

宇治の月
宇治公園（塔の島）
宇治橋（三の間）

●宇奈月の月／宇奈月温泉100名月物語〔富山県黒部市〕 ●宇治の月/宇治公園（塔の島）・宇治橋（三の間）〔京都府宇治市〕 ●藻岩山から望む月〔北海道札幌市〕
●稲佐山から望む月〔長崎県長崎市〕 ●奥比叡ドライブウェイから望む月〔滋賀県大津市〕 ●月夜野の月/指月会〔群馬県利根郡みなかみ町〕
●中禅寺湖・戦場ヶ原・奥日光湯元温泉から望む月〔栃木県日光市〕 ●沖縄那覇の月（首里・識名園・福州園）〔沖縄県那覇市〕
●あべのハルカスから望む月/ハルカス300〔大阪府大阪市〕 ●鬼怒川温泉の月/月あかり花回廊〔栃木県日光市〕 ●松島にのぼる月〔宮城県宮城郡松島町〕
●石山寺の月/石山寺秋月祭〔滋賀県大津市〕 ●江の島から望む月〔神奈川県藤沢市〕 ●妙高山にのぼる月〔新潟県妙高市〕

http://japan100moons.com

夜景検定 イルミ検定

「日本百名月」プロジェクトとは?

このたび、夜景観光の推進を目指す（一社）夜景観光コンベンション・ビューローでは、「日本百名月」プロジェクトをスタートしました。これは日本各地に数多ある「美しい名月」の魅力を国内はもちろん、海外の観光客に存分にアピールし、日本の名月の観光資源化を目指そうというものです。分かり易くお伝えするならば、名登山家である深田久弥氏の「日本百名山」の名月版と言えるかもしれません。後世に残る名月ブランドとしての確立を狙うものです。

近年、夜景観光の発展にともない、中秋の名月にちなんだ観光目的の観月イベントや月の魅力を伝える書籍やメディア等でも扱いも増加し、ホテル、旅行業、観光事業、交通、展望施設、エンタテインメント施設ほか様々な分野でひとつのビジネスシーズとして注目されています。ただその一方で、関係する事業者は各々でプロモーションを行うのみで広がりがなく、観光集客に直結するコンテンツとしても発展途上という課題があります。

そこで、特に後世に残したい名月を、一定基準のもとに「日本百名月」として認定・登録。スケールメリットを生かすことはもちろん、名月観光に従事する事業者連携より新たなる価値の創造を目指していきます。なお、国内の名月鑑賞地をまとめた試みは、日本初のプロジェクトとなります。

「日本百名月」プロジェクト概要

企画趣旨

「日本百名月」プロジェクトは、「月の魅力」を時代に即した観光視点から捉え、より強大な日本の夜景資源へと昇華させること目指し、今後百年続く新たな観光ブランドを創設するものです。2016 年の第一回認定では、全国4700名の夜景鑑賞士の投票を含めた客観的なデータも採用するなど、数項目の検証を経て20〜30 のスポットを認定・登録。その後も継続的な調査と選出を施し、数年後には全国100 ヶ所の名月地が出揃います。

活動目的

日本国内における「名月」が魅せる景観美の発掘と観光資源化その主な活動目的として、

①日本オリジナルの情緒的文化として、国内外への名月の魅力の訴求
②地元の魅力の再発見など、地元回帰の促進
③名月を観光資源とした地域における観光商品の造成化
④名月を観光資源とした滞在型観光の促進
⑤名月の観光資源化を目指す都市・地域間の連携強化

「日本百名月」の選出方法

下記の選出基準をもとに全国の名月鑑賞スポット（公園や施設問わず）を調査。

①魅力ある名月を夜間も安全に楽しめる場所・観光施設であること
②選出された場所・施設における運営管理主体が明確であること
③運営主体者が継続的に維持管理できること
④運営主体者がブランドの価値を理解し、継続的販促が可能であること
⑤日本百名月の銘板（予定）の付帯設置が可能であること。
⑥大規模な再開発等により、鑑賞地を失う恐れが無い場所であること
⑦全国の夜景鑑賞士（夜景の有資格者）の投票により一定数の票を得ること。

「日本百名月」認定の種別

「〜から望む月」というように、特定の場所から月を愛でる場合、「〜にのぼる月」のように山や島々などの特定の場所の上にのぼる月を愛でる場合、名月鑑賞そのものをイベント化した場合など、月を愛でるスタイルは様々あります。そこで、その特徴から大きく2種類に分類。特定の場所から鑑賞や名月鑑賞そのものがイベント化されている場合をA類、特にイベントはなく、特定の場所から月を愛でる場合と特定の場所の上にのぼる月を愛でる場合をB類、としています。

活動主体：（一社）夜景観光コンベンション・ビューロー　KNT-CT ホールディングス（近畿日本ツーリスト（株）/ 近畿日本ツーリスト個人旅行（株）/ クラブツーリズム（株）等）

第一回認定14カ所

認定登録第1号／A類
宇奈月の月／宇奈月温泉100名月物語（富山県黒部市）

その名の通り、黒部川の渓谷に上る名月が鑑賞できる地。名月を生かした土産物等を販売するほか、冬季には「宇奈月温泉100名月物語」等のイベントを実施している。

認定登録第2号／B類
宇治の月／宇治公園〔塔の島〕・宇治橋〔三の間〕（京都府宇治市）

世界文化遺産や数々の名勝・史跡に恵まれた宇治公園一帯。重要文化財である石塔や日本三古橋のひとつである宇治橋など、古き良き歴史と名月の競演が楽しめる場所。

認定登録第3号／B類
藻岩山から望む月（北海道札幌市）

2015年に認定された「日本新三大夜景都市」のひとつ、札幌市におけるフラッグシップの展望台。札幌市街の大パノラマと名月が楽しめる、現代を代表する絶景スポット。

認定登録第4号／B類
稲佐山から望む月（長崎県長崎市）

香港、モナコと並ぶ「世界新三大夜景」に認定された長崎。代表的な視点場である稲佐山は、長崎港と丘陵部に煌めく星のような住宅街の明かりの競演が楽しめる名月鑑賞地。

認定登録第5号／B類
奥比叡ドライブウェイから望む月（滋賀県大津市）

深淵なる琵琶湖夜景を鑑賞できるドライブウェイの展望スポットで、湖に上る名月と、湖面に反射する名月のふたつが楽しめる。国内のドライブウェイ系の認定地としては初。

認定登録第6号／A類
月夜野の月／指月会（群馬県利根郡みなかみ町）

山々の美しい稜線と名月が鑑賞できる地。嶽林寺では、名月イベント「指月会」が催されファンも多い。厳粛かつ静謐な世界感は日本の名月鑑賞の原風景とも言える。

認定登録第7号／B類
中禅寺湖・戦場ヶ原・奥日光湯元温泉から望む月（栃木県日光市）

冬は雪を活用した夜間イベントで賑わう、名月鑑賞エリア。中禅寺湖や湯ノ湖（奥日光湯元温泉）は名月を浮かべる鏡となり、戦場ヶ原に上る月は、唯一の光として象徴化される。

認定登録第8号／B類
沖縄那覇の月〔首里・識名園・福州園〕（沖縄県那覇市）

沖縄と名月との関係は深く、琉球建築、廻遊式庭園、中国庭園といった沖縄那覇を代表する史跡と名月が見事に融合する世界感が魅力の一つ。国内最南端の名月地である。

認定登録第9号／B類
あべのハルカスから望む月／ハルカス300（大阪府大阪市）

ビル型展望台として日本最高峰の高さを誇る360度回遊式の展望台で、名月鑑賞としては最適な視点場。大阪都市部の大パノラマと名月の競演は現代を象徴する夜景だ。

認定登録第10号／A類
鬼怒川温泉の月／月あかり花回廊（栃木県日光市）

鬼怒川の渓谷と名月が楽しめる温泉地で、名月イベントも実施。足元を照らす優美な明かりや流れる和楽器の音色等、夜間における和の世界を追求し、おもてなしを極めている。

認定登録第11号／B類
松島にのぼる月（宮城県宮城郡松島町）

日本三景のひとつである松島は、松尾芭蕉の歌にも詠まれた、古来より様々な文人に愛されている月見の名所。大小260余りの島々に上る名月の叙情性が心を捉える。

認定登録第12号／A類
石山寺の月／石山寺秋月祭（滋賀県大津市）

紫式部とのゆかりが深く、秋の観月イベント「石山寺秋月祭」は、観光客で賑わう。国内の雅な明かりや境内から望む琵琶湖と月の競演は、古の情感をそのままに伝える。

認定登録第13号／B類
江の島から望む月（神奈川県藤沢市）

浮世絵にも描かれた、江ノ島と名月。シーキャンドル（展望台）からは、海岸線の街明かりと天空に上る名月が鑑賞できる。イルミネーションと名月の競演も見どころ。

認定登録第14号／B類
妙高山にのぼる月（新潟県妙高市）

妙高山を中心に、火打山、新潟焼山と、3つの日本百名山にのぼる月が楽しめる地。雄大な山々と名月が競演する様は普遍の絶景で、多くの山岳ファンにも親しまれる。